

放送大学愛媛学習センター 公開講演会

予約不要 無料 どなたでもご参加いただけます。

2020年度
第1学期

2020年 4/11 (土)	13:00~14:30 数学と物理のパラドックス 小林 範之 愛媛大学大学院農学研究科教授	開催中止
	パラドックスとは、正しそうに見える前提と妥当に見える推論が言葉です。皆さんの直感を裏切る面白いパラドックスをご紹介します。	
2020年 6/20 (土)	15:00~16:30 コンピュータの数表現と計算 岡野 大 愛媛大学大学院理工学研究科准教授	開催中止
	コンピュータの正確で高速な計算は、正確でない計算を組み合わせた仕組みを、最も基本的な「数をどのように表現するのか」とい	

2020年 6/20 (土)	13:00~14:30 「國體」について—主権と政体など 野田 裕久 愛媛大学法文学部教授
	「國體」とは何か。日本生まれのこの語と概念を、どのように（西洋由来の）国家学の言葉で説明するか。その問題に挑戦します。
2020年 8/1 (土)	15:00~16:30 ヒトと自然との関係（生命活動の溶媒としての水） 渡部 保夫 愛媛大学名誉教授
	生命の源は水であり、水がないと生命は存在できない。ヒトは毎日水を摂取する必要があり、栄養素の運搬や体温調節、老廃物の廃棄などで大切な役割を果たしています。

2020年 8/1 (土)	13:00~14:30 論理パズルで遊ぼうⅡ 小林 範之 愛媛大学大学院農学研究科教授
	論理パズルとは、与えられた条件から論理的に筋道立てて解いていくクイズです。論理パズルを解いて、いつの間にか硬くなってしまった自分の頭を柔らかくしてみませんか。前回同様、皆さん一緒にチャレンジしてみましょう。
2020年 8/2 (日)	15:00~16:30 折り紙工学入門 岡野 大 愛媛大学大学院理工学研究科准教授
	「折り紙」を工業製品や建築物の作成に応用する折り紙工学について、人工衛星の太陽光パネルへの応用で有名なミウラ折りを実際に折ることからはじめて学びます。

2020年 8/2 (日)	13:00~14:30 人間理解のための科学⑥～対人感性(sensitivity)を磨くコツ～ 平松 義樹 愛媛大学名誉教授
	どのような職場にも「不機嫌な職場」があります。なぜそのような職場が生まれるのでしょうか。看護師さんの職場の現状を通してチームワークについて考えてみたいと思います。その上で、「対人感性(sensitivity)」を磨き、人間関係をよくするコツについて考えてみたいと思います。
2020年 8/2 (日)	15:00~16:30 マタernal・ディプリベーションについて 相模 健人 愛媛大学教育学部准教授
	臨床心理学では従来、親子関係が重視されてきました。今回はマタernal・ディプリベーション (Maternal Deprivation:母性的愛情の喪失) を歌をもとに考えていきたいと思っています。

2020年	13:00~14:30
	日本語と英語の称賛行動 木下 英文 愛媛大学法文学部教授
8/29 (土)	15:00~16:30
	記念碑が語るアメリカの歴史と文化 加藤 好文 放送大学愛媛学習センター所長
日本語と英語の称賛をめぐるやりとりには、いくつかの特徴的な違いがみられます。今回の講演では、称賛行動と両言語の背景にある文化とストラテジーの関係について考えてみたいと思います。	
アメリカ合衆国には、その歴史を物語る記念碑や記念館などが各地に建てられています。その文化的意味について、首都ワシントンD.C.の場合を中心に考えてみたいと思います。	

2020年	13:00~14:30
	「國體」について一里見岸雄と和辻哲郎の所説を中心に 野田 裕久 愛媛大学法文学部教授
8/30 (日)	15:00~16:30
	ヒトと自然との関係（化学反応と酵素の特性） 渡部 保夫 愛媛大学名誉教授
「國體」論議は、すぐれて論争的なテーマです。里見岸雄と和辻哲郎は「國體」概念への評価は正反対。しかも憲法学説の通説に相違して、日本の国柄の捉え方に共通点が見られる点。その難しさと面白さの解説を試みます。	
生命活動は、多数の化学反応の繋がりであり、その一つ一つを司っているのが酵素というタンパク質であり、このタンパク質の設計図が遺伝子です。酵素反応の特徴を考えます。	

2020年	13:00~14:30
	人間理解のための科学⑦～『平成坊っちゃん物語』の世界～ 平松 義樹 愛媛大学名誉教授
9/5 (土)	15:00~16:30
	自我同一性について 相模 健人 愛媛大学教育学部准教授
教師をめぐる問題が後を絶ちません。教師って何でしょう。教員とはどう違うのでしょうか。免許状を取得した学生が、教師として歩きはじめ成長する世界を、私の拙い経験をもとに話してみたいと思います。あくまでも個人的な体験ですので一般化はできないかも知れませんが、「教師として生きる覚悟」について考えてみたいと思います。	
臨床心理学では青年期は疾風怒濤の時期と呼ばれ、様々な問題が起こりやすいと言われています。今回は自我同一性を映画をもとに考えていきたいと思います。	

2020年	13:00~14:30
	謝罪行動に見られる日英語の違い 木下 英文 愛媛大学法文学部教授
9/6 (日)	15:00~16:30
	アメリカ文学と自然—クーパーとソローを中心に 加藤 好文 放送大学愛媛学習センター所長
日本語と英語の謝罪ストラテジーはどのように違うのでしょうか。本講演では、両者の特徴の違いについて、具体例を通して紹介したいと思います。また、日英語間で生じ得る謝罪をめぐる摩擦についても考察します。	
アメリカ文学の魅力の一つとして、広大な自然あるいは荒野を舞台に物語が展開されていることも挙げられると思います。草創期の作家・作品を取り上げて、その意味するところを現代とのつながりで考えてみます。	

放送大学愛媛学習センター

所在地 松山市文京町3番愛媛大学構内
電話 089-923-8544
FAX 089-923-8479
E-mail ehime-sc@ouj.ac.jp
Web <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/ehime/>



【開所時間】 9:30~18:00

閉所日：月曜日、祝日、休日、年末年始

【交通案内】 JR松山駅から市内電車(環状線①)乗車15分
伊予鉄松山駅から市内電車(環状線②)乗車15分
(いずれも鉄砲町下車 徒歩3分)